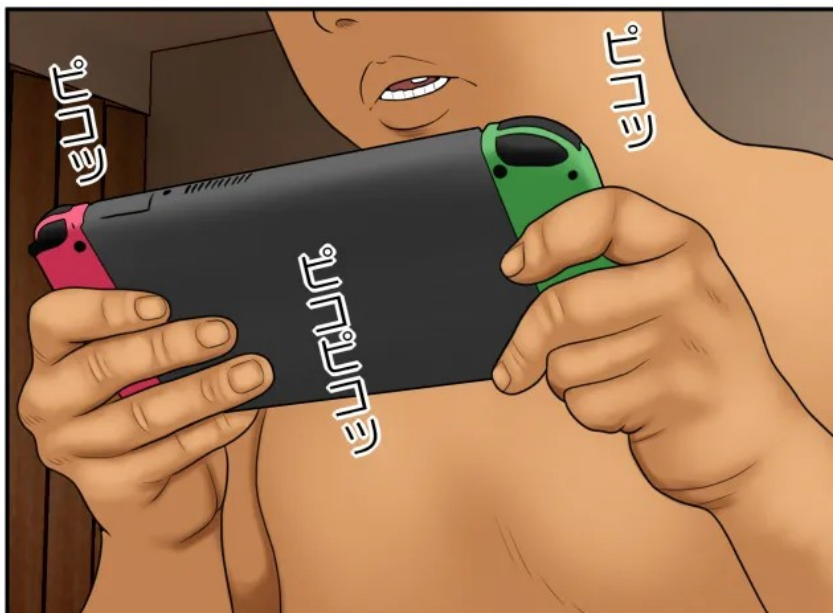
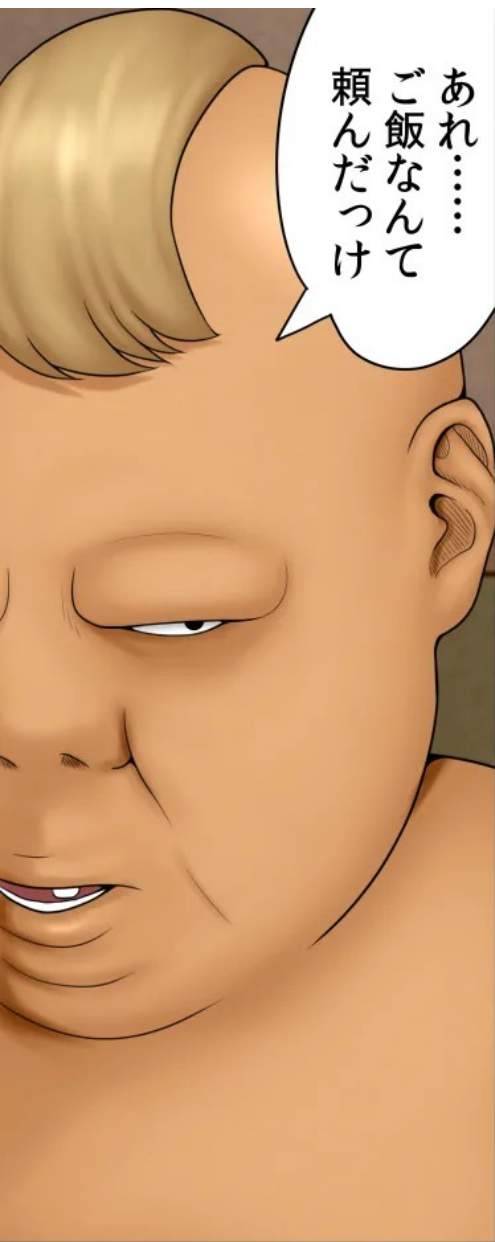


人妻スパイとマフリア  
の息子2









これで護衛が見当たらない理由がわかったな  
いったん出直そう

パパもママも  
酷いよねえ



くそ：  
勘づかれたか



そうでしたか  
それでは  
失礼いたします

うん  
バイバイ

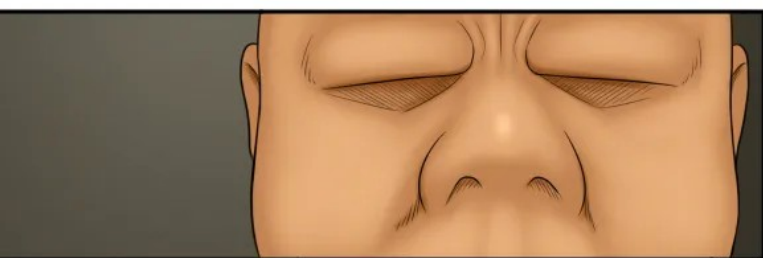


ボクお昼寝  
してただけど  
起きたら誰も  
いないんだ

ふつう子供置いて  
家に帰らないよねー

JLTA

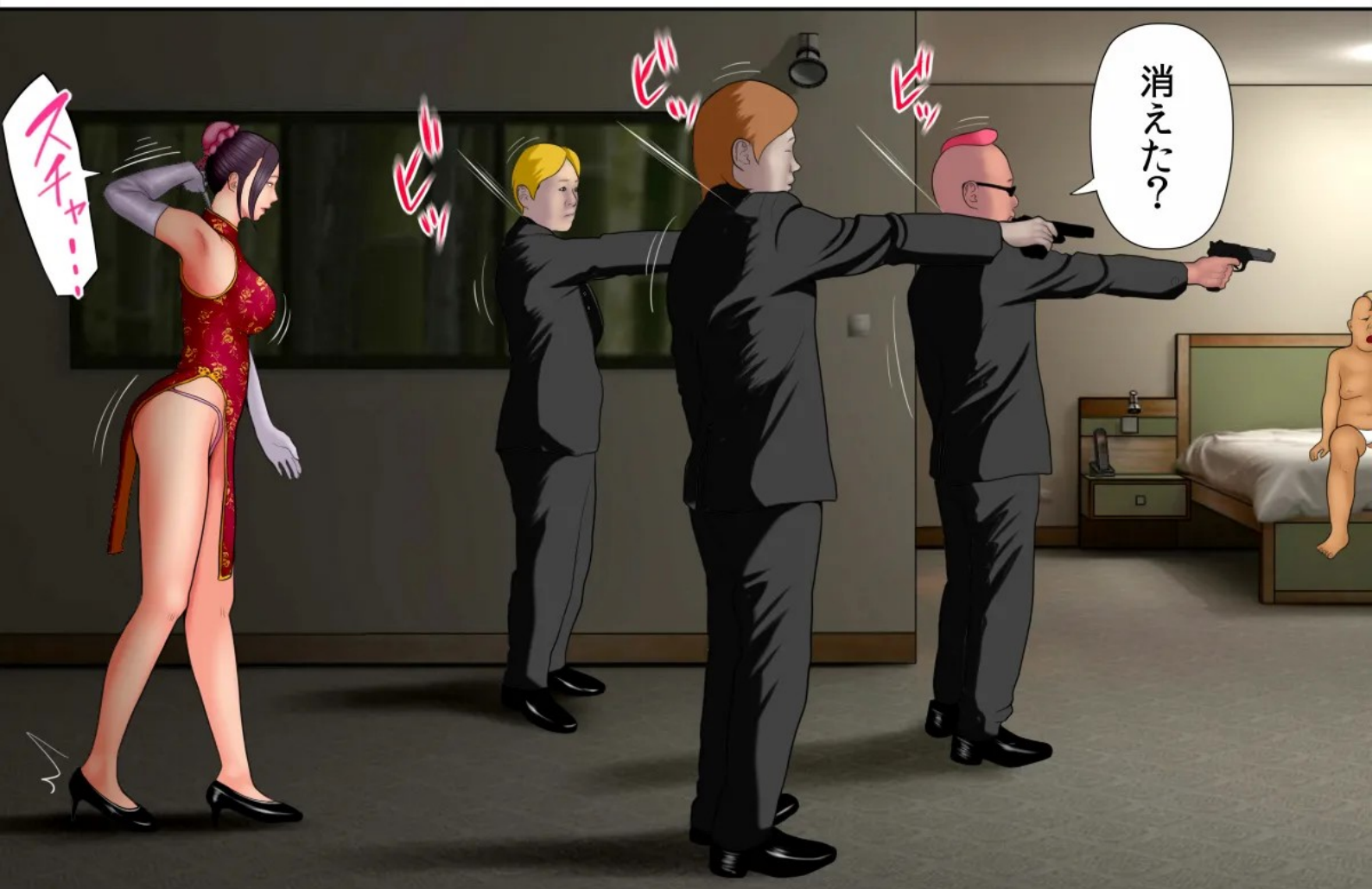
JLTA

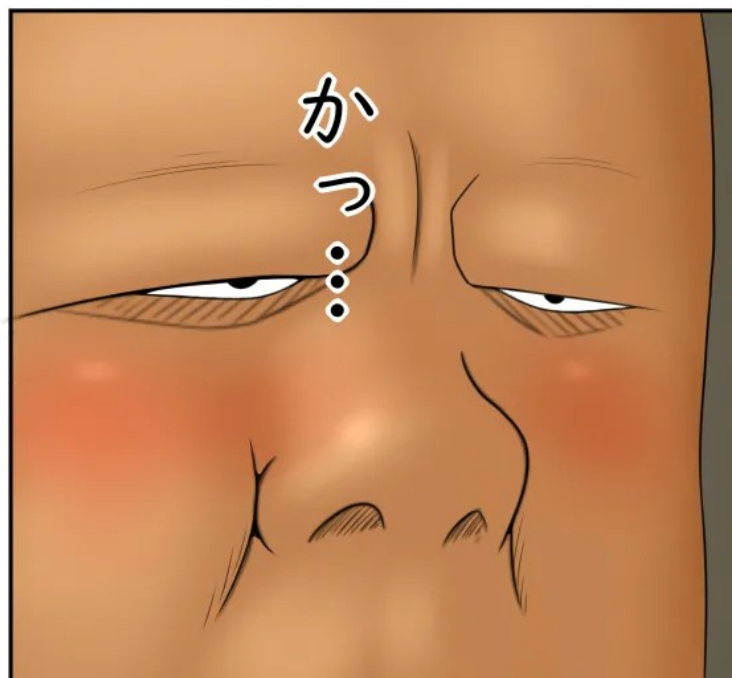
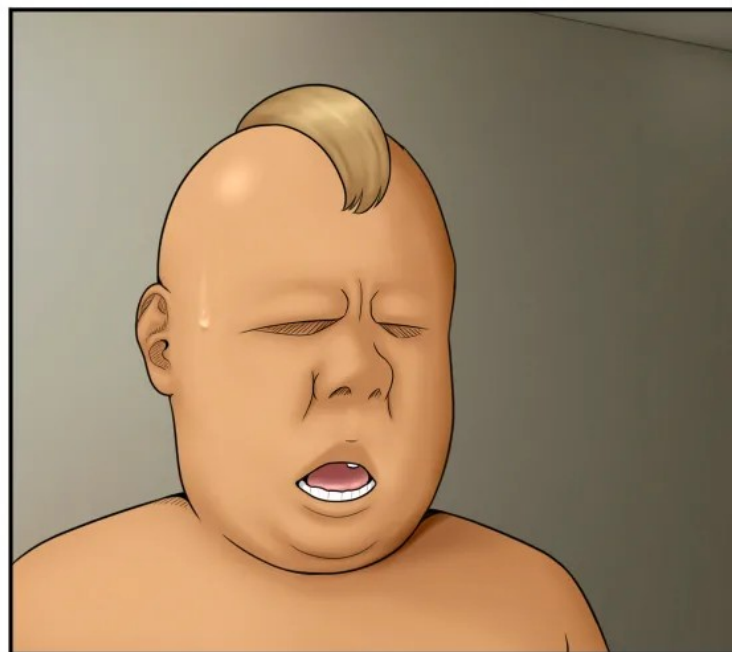
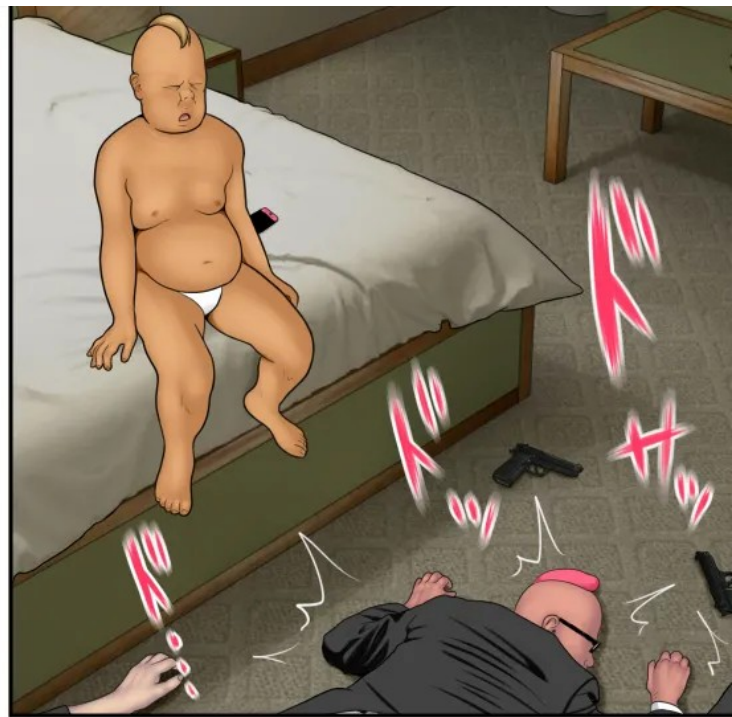
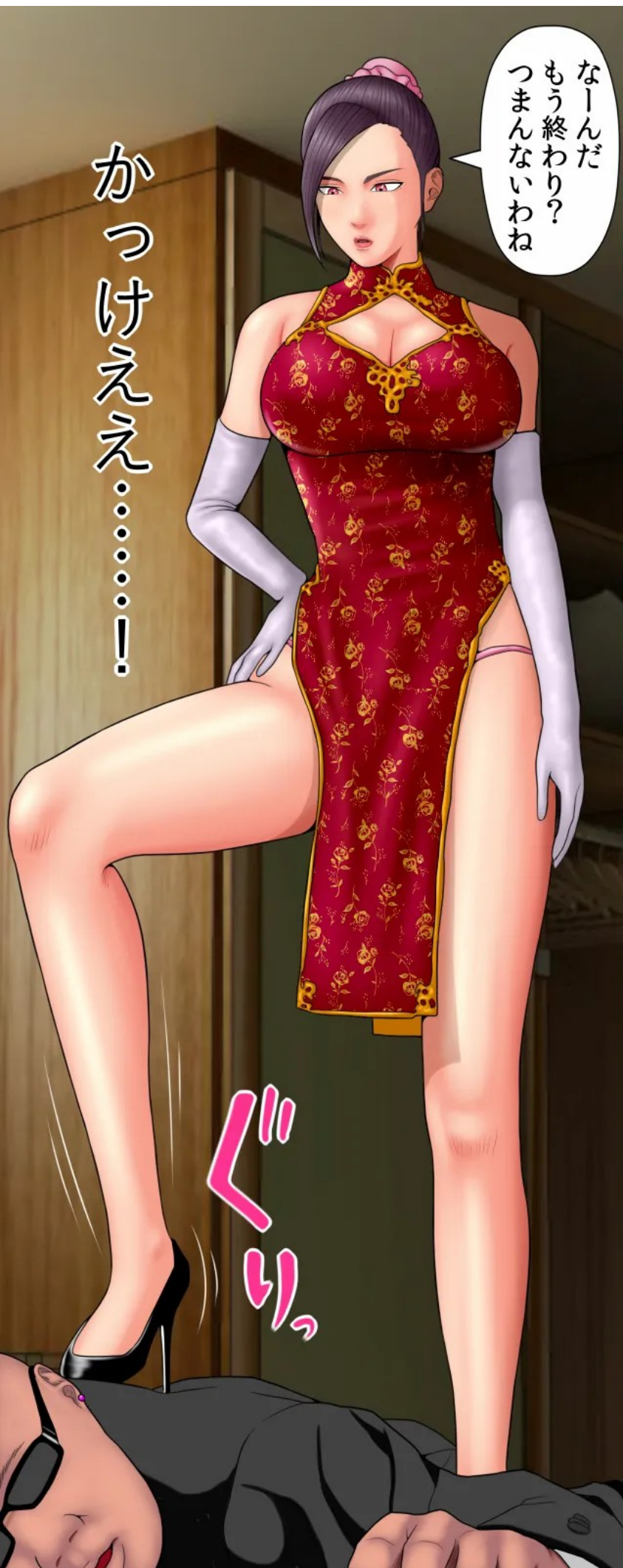


後ろお！









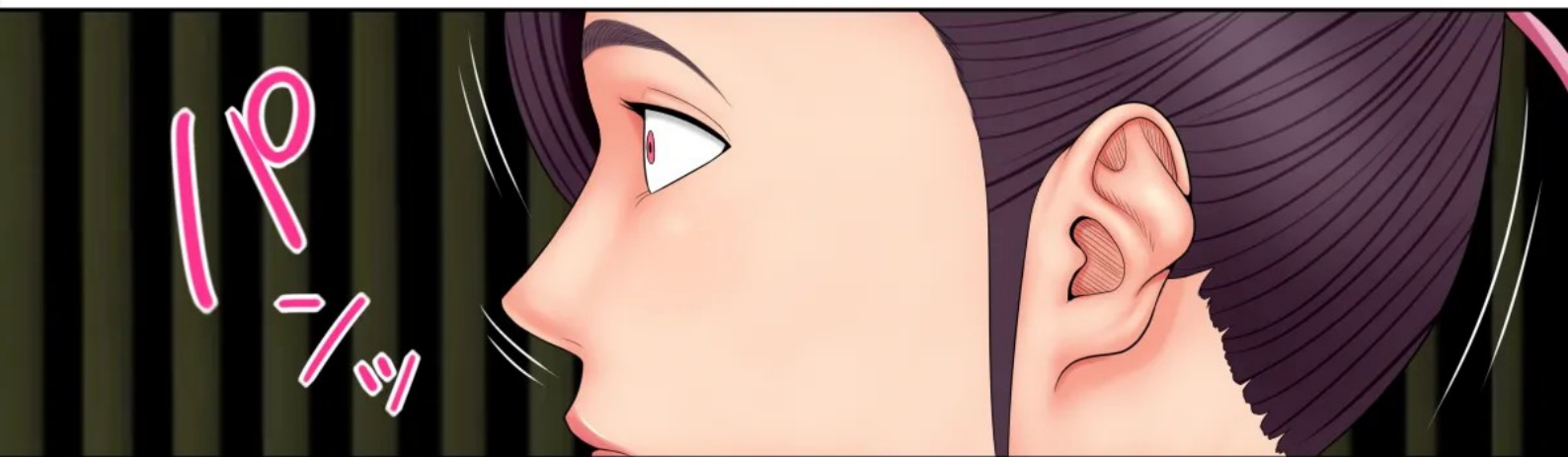


好き



安心してろ  
子供を殺す  
趣味はない

ただし：  
今日あつた事を  
誰かに話したら  
命の保証はない



19  
1/3



うっ……

おじいちゃん……

おばさんさあ……

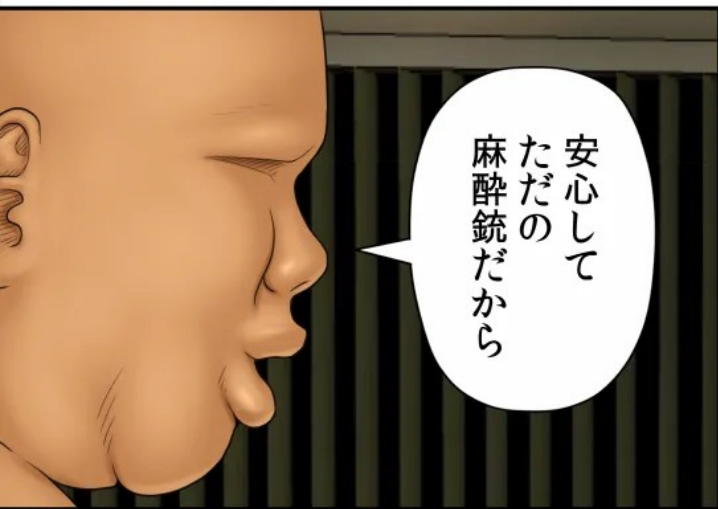
ぶるん

ぶるん



子供だからって  
油断したね

フフフ……





こんな女  
初めてだよ

くそつ早く  
殺せつて！

殺してどうする



女の武器を使って  
犯罪に関する  
あらゆる情報を  
聞き出せ…

今回は敵が大きすぎる  
よって組織全体の把握が  
重要だと伝えたのだ



それよりも  
麻薬の入手経路や  
人身売買に関する  
情報を手に入れる  
方が重要だ

ドンの子なら  
様々な情報を  
知ってるはずだ



騙したんですか

いいや  
ニードル…  
お前の妻には  
あらかじめ  
伝えている



クズ野郎!

まあ待て  
落ち着くんだ



お前が脚を  
怪我したのは  
好都合だったよ  
助けに行かれても  
困るからな



諦めろ...

これが我々の仕事だ



僕：ファビオ  
よろしくね




私も鬼ではない...  
重要な情報が  
手に入れば応援を  
送るつもりだ

くっ...  
くっ...

辛いのはわかる...  
しかし今は情報収集に  
徹するのだ...  
彼女もその覚悟が  
できてるはずだ



いつかはこうなると  
覚悟はしていたが…



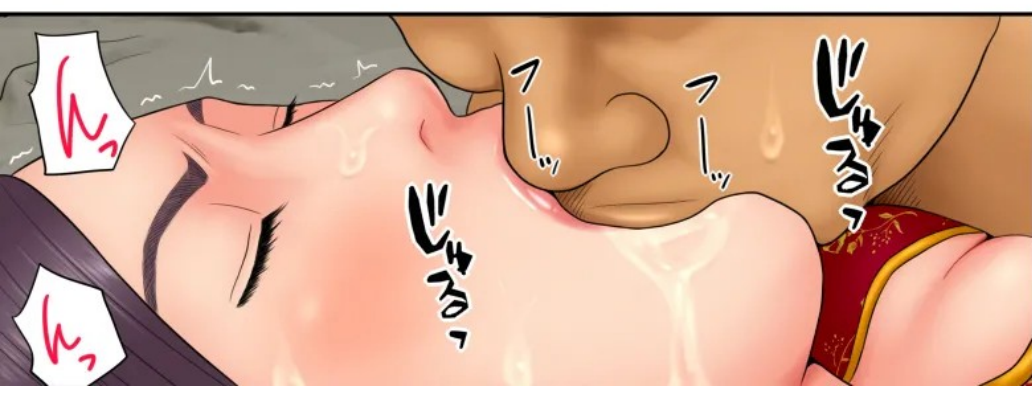
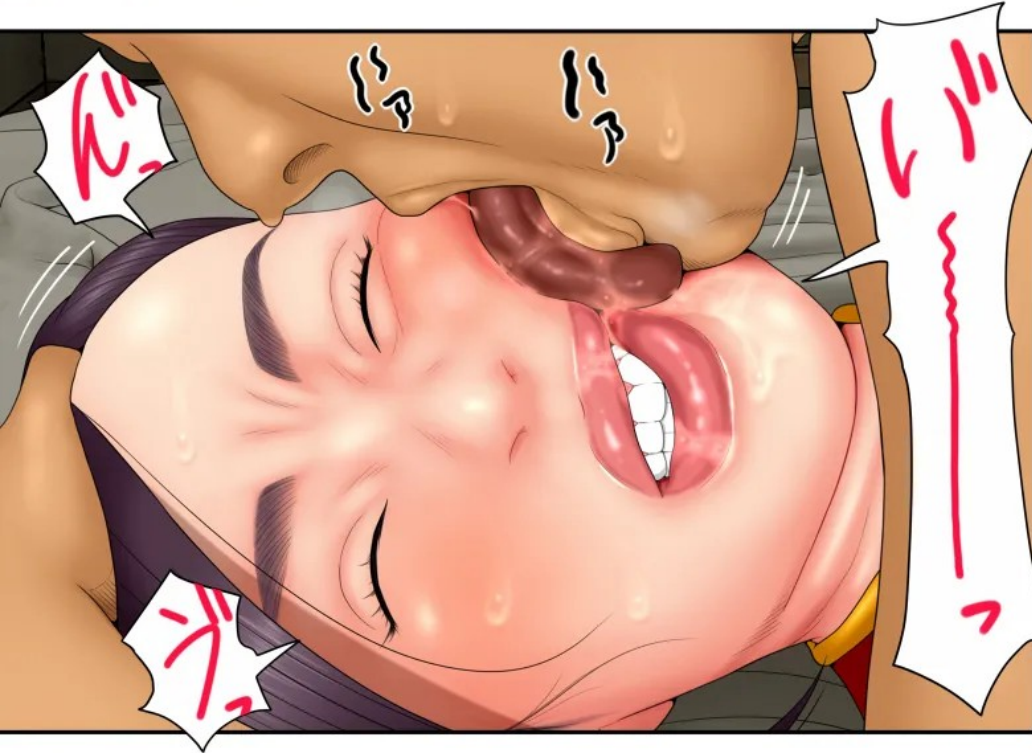
やめてっ…  
うっ…ぶっ…

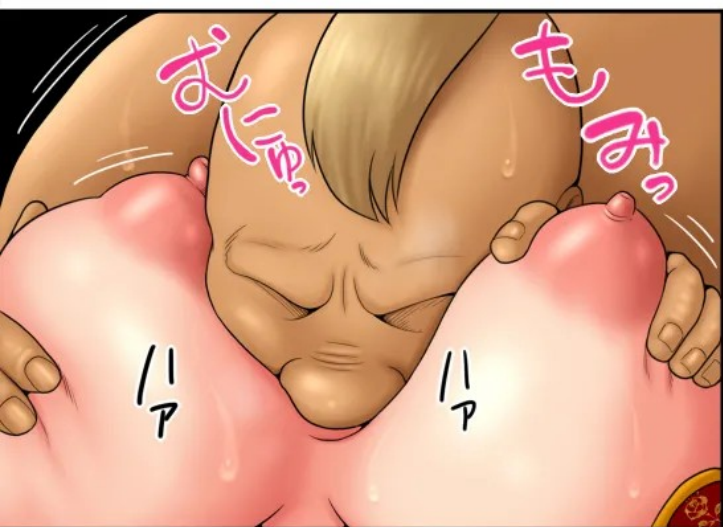
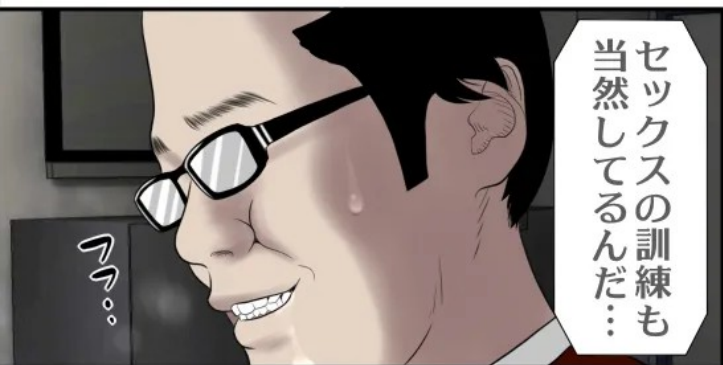
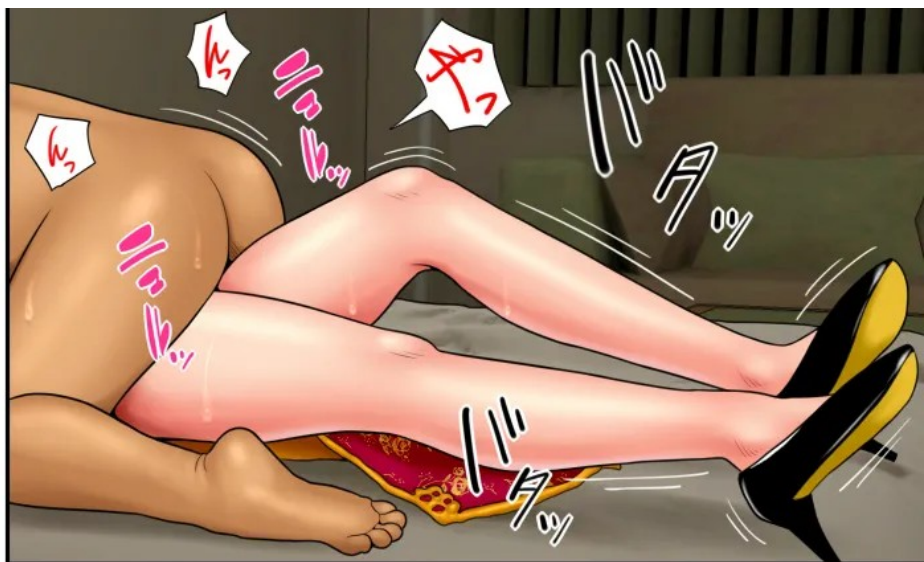


いやあっ  
んんっん

ぶっんっ…  
やめっんんー

これがスパイの妻を  
持つということなのか…









頑張れ律子：  
お前はプロだ  
お前ならできる！



む：息子を置いて  
逃げるなんて  
酷い親ね：  
本当に可哀想



護衛の一人と  
連絡が取れなく  
なった途端に  
へりで帰った

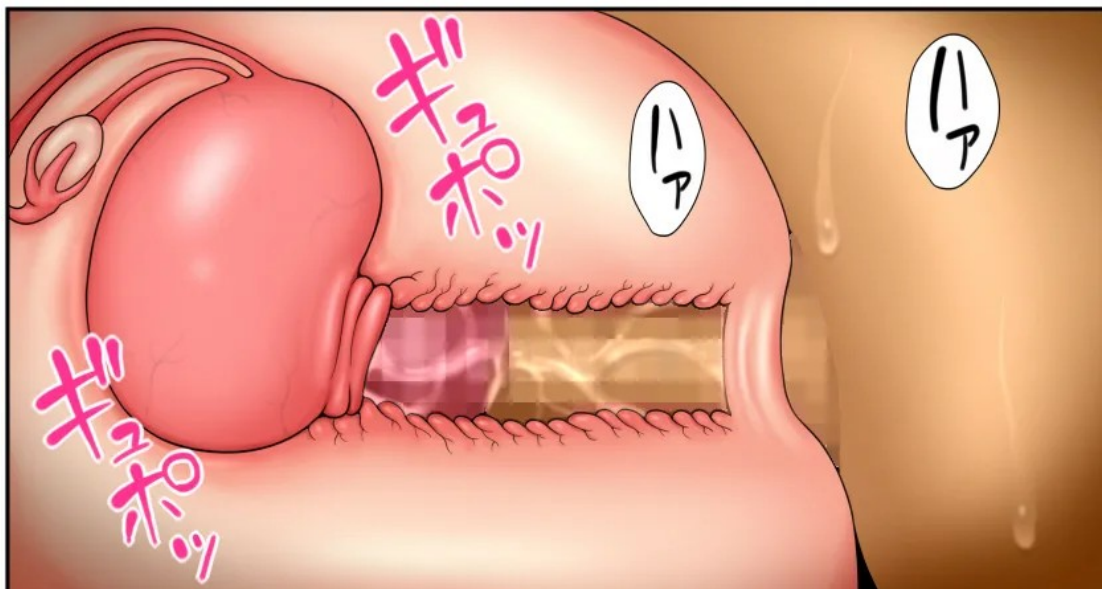
家は遠いの？



ああ見えて  
臆病なんだよ













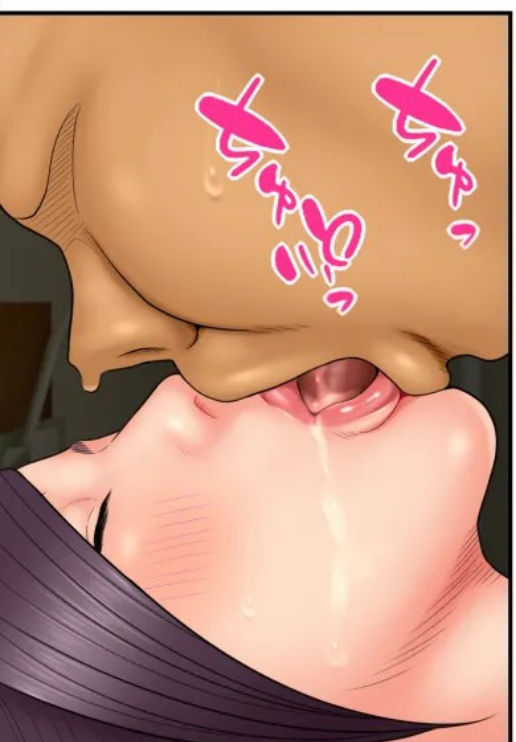
旦那がいるわ

彼氏  
いる？



律子

な…名前は？



スパイって  
給料いいの？

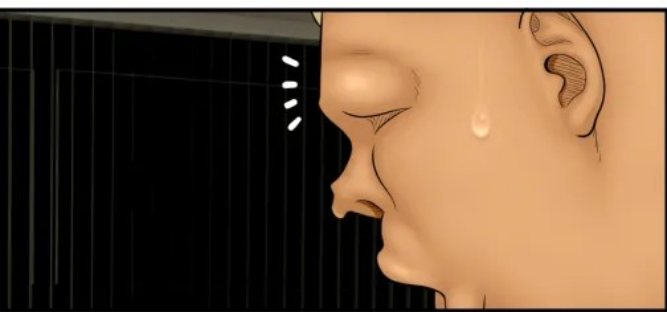
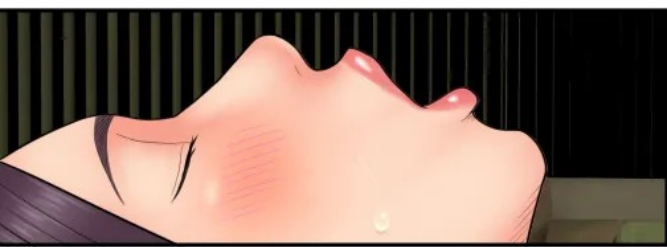
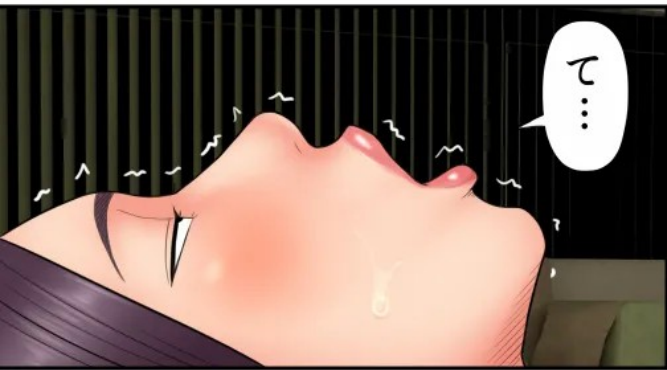


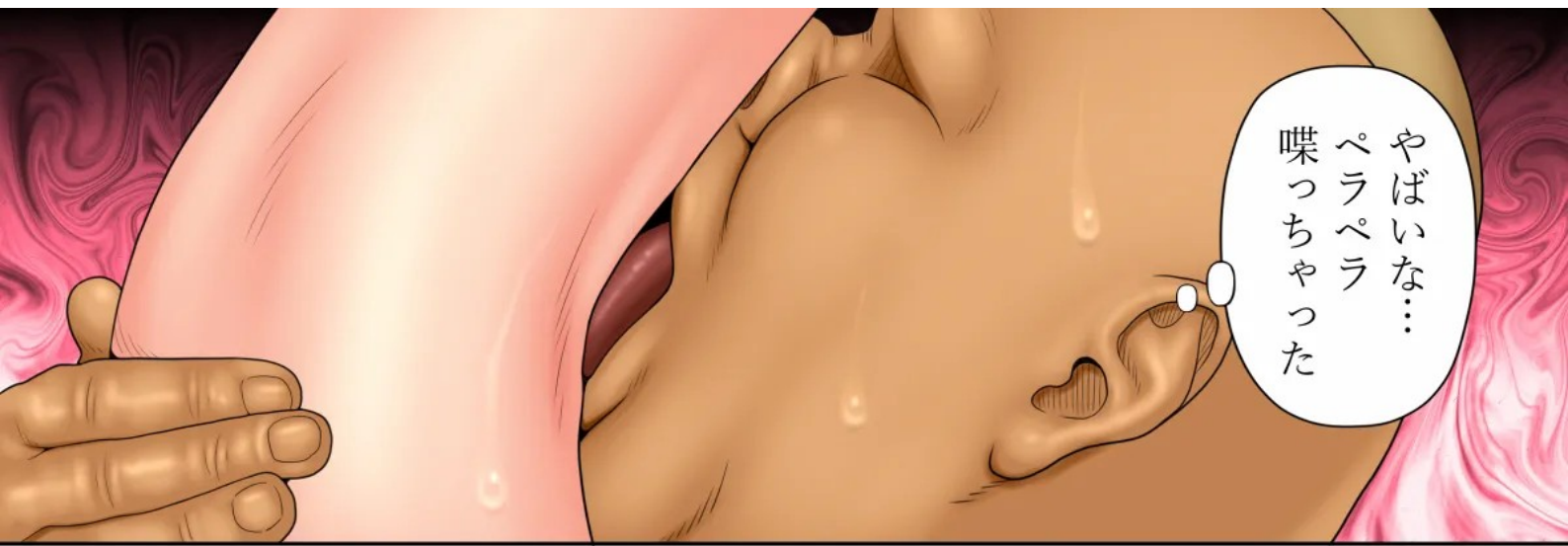
よくやった！  
これで場所が  
しぼれるぞっ  
その調子だ！



タワマン？  
俺もだよ  
周りが山しか  
なくて寂しい  
けどね

人にもよるわ  
私達は眺めの  
いい場所に  
住めるくらいは  
貰ってる





やばいな…  
ペラペラ  
喋っちゃった

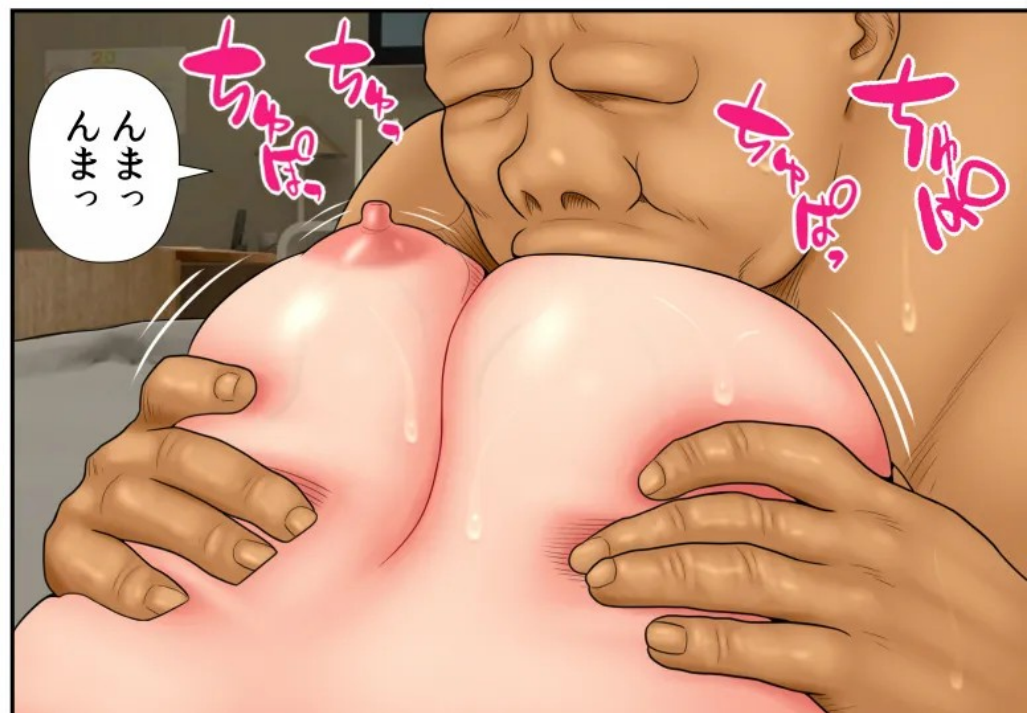
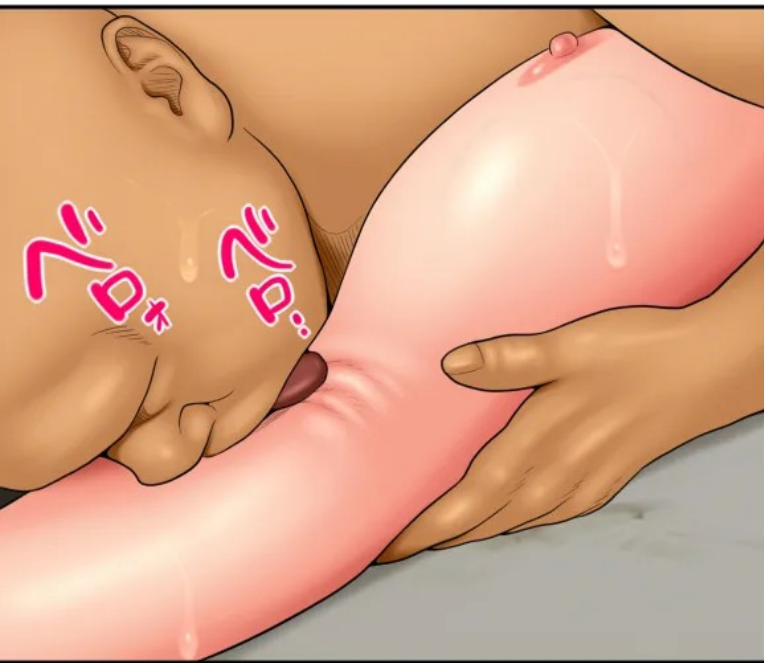


でもなんでだろう  
聞かれてもないのに  
自分のことを喋って  
しまった…

もっと話したい？  
いや…この女の事を  
もっと知りたいと  
思ったんだ









パパには  
スパイはたとえ  
どんなにいい女でも  
殺せって言われてる



どうしよう……

ハア

ハア



ごめんパパ……

あっ

あっ……

う……

あっ

チン  
コロ

チン  
コロ

グ  
チン

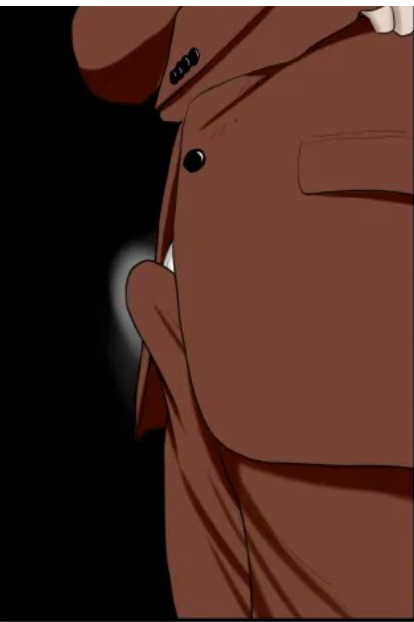
グ  
チン

ハア

ハア

僕には無理だよ





ハハハツツ：  
簡単に堕ちたな  
男は身体を許した女に  
心を開く生き物だ



律子……

ハハハツツ……

お前なら  
よーく  
わかってる  
よなあ……

ビシヨップ  
旦那に普段から  
『特訓』してるなんて  
知られたら……  
俺は間違いなく  
殺されるだろうな



んっ  
んっ  
んっ

んっ

好きっ  
好きっ

んっ

んっ



つづく